

「いじめ0プロジェクト」を推進しています

誰もが楽しく毎日の生活を送りたいと思うのは当然のこと。だから教科等の学習だけでなく、社会に出る前に、いろいろな問題をより良く解決しながら人と人との関わり方等について考え学ぶ場、それが学校です。

そこで、いじめ問題やいじめにつながるようなことについて、各学級や全校で意見交換をしながら考え直そうという取組「いじめ0プロジェクト」を行ってきました。

11月29日(火)には、本校卒業生、PTA会長、立命館大学留学生の方々とともに各学級代表者が討論会を実施しました。また、その討論会前の11月14日(月)と討論会後の12月9日(金)に各学級で話し合い活動などを行い、いじめ問題について考えました。

以下、それぞれの様子をお伝えします。

討論会前の学級活動

○ 日常生活で起こっているいろいろなことを通して、される側が苦痛を感じていたらそれはいじめだということに気づく生徒が少なくありませんでした。その上で、「知らないうちに誰かを傷つけていたかもしれないと考え、自分の発言はしっかりと考えた上で、相手のことを思ってしたい。」といった感想を多くの生徒が持ちました。

○ 「いじめを見たとき見て見ぬふりをしていたけど、これからは誰かに相談したり、いじめられている人に声をかけたりすることも大切だということがわかった。」という感想のように、何もしていない傍観者でいることは、自分もいじめの側に立っているのと同じだとの認識が深まりました。



全校集会 *本校 HP に当日の報道内容(動画)をアップしています。

○ 10年前に宣言文を作成した当時のことを、卒業生の元生徒会長や執行部の方から聞きました。「無視されたり仲間はずれにされたりする人がいたので、いじめをテーマにした全校集会を開き、アンケート結果や作文の発表、劇をしたりすることで、全校生徒がいじめを身近なものとして考えられるようにした。そして、次の世代にもその気持ちが風化しないように、日頃の自分の行動をふりかえるきっかけとなるように宣言文をつくった。」とのことでした。

宣言文

私たち、老上中学校生徒会は、次の通り宣言します。

- 一人ひとりの人権を大切に、あらゆる差別につながるような行為・発言はしません。
- いじめは、人の心を傷つけ、人権を踏みにじる最大の凶器であることを常に意識し、行動します。
- いじめを受けたときは、「やめて」とはっきり言い、周りの人にも知らせ、「いじめは人権侵害だ」ということを訴えます。
- いじめをしている人をみたら、勇気をもって「やめよう」と言います。

●以上のことを守り、老上中学校の生徒全員が基本的人権を尊重し合い、みんなが気持ちよく、楽しい学校生活を送れる学校にします。

2007年1月12日 老上中学校 生徒会



○ 現在、老上中学校では大半の人がいじめを見たか聞いたかということがあななかで、いじめを見たときに止められるかという議論では、「止められない。」「止められないけど、先生に相談する。」という意見が多いなか、「いじめられた経験があり、その辛かった経験があるからこそ絶対に止められる。何もしていない人はいじめている人と一緒。」との意見もありました。

- PTA 会長さんからは、みんなができることを考えて行動を起こし、一人でも無視をされたという人



をなくしてほしいという願いを話していただきました。

○ 留学生の方からは、「いじめは、自分が優位に立ちたいという気持ちから生まれるし、いじめる人は勇気が足りない。また、お互いを認め合うことが大事。」との意見をもらいました。さらに、「本当に力を持っている人は他の人の立場を分かっている人」との指摘もいただきました。

* コーディネータの3年生田中佳介さん、多田智熙さん、たいへん上手に討論を進めましたね。ご苦労さまでした。

討論会後の学級活動



○ 全校集会での意見を思い出しながら、いじめによって自殺にまで追い込まれた方の遺書を読み、いじめがいかに人の心を踏みにじる行為なのか、命をも奪う重大なことなのかを考えました。

○ 一人ひとりがいじめをなくすために何ができるのかを考え、決意をメッセージカードにまとめました。また、老上中学校みんながいじめをなくす気持ちを忘れないよう、ピンバッジを受け取りました。



図書委員会によるしおりの作成

○ 図書委員会では、いじめ0プロジェクト推進のため、全校で募集したメッセージといじめ撲滅の宣言文を記したしおりを作成し、全校生徒に配布しました。

人というのはもろく、誰もが他の人にはわからないしんどさをもって生活しています。だから時として何気ないことで傷ついたり、逆に自分を守ろうとして知らず知らずのうちに自分本位な言動で周りの人を傷つけてしまったりすることもあります。老上中学校全員が大切な生徒です。今一度、全員が自分自身の言動を冷静に見つめ直すと同時に、自分も人も責めすぎることなく、あやまちを正してお互いが気持ちよく生活できるようにしましょう！
私自身も自分を見つめ直したいと思っています。

新たな生徒会組織でスタートしました

去る12月14日(水)、生徒会長に植西夏萌さん(2年生)、副会長に小藤みなみさん(2年生)と荒堀恵子さん(1年生)が認証された後、生徒総会にて、今後1年間の生徒会の活動方針や活動計画の概要が示され、承認されました。



活動計画案はたいへん練られた内容だと感心しました。これまでの活動にとらわれず、生徒会総務執行部の皆さんを中心として、よく考え知恵を出し合った足跡が見えました。全校生徒の意見を生徒会活動に反映させるための「オピニオンボックス」の設置や、いじめをなくすための「ピンクシャツデー」の取組、感謝の気持ちをメッセージで互いに伝え合う「ありがとうメッセージ」の取組などが印象的で

した。自分たち自身で行動を起こし、支え合えるような、また高め合えるような生徒会活動となるよう応援しています！

「あいさつは今日をいろどるデコレーション」 1年生 中村光希さんの作品

(草津市青少年育成市民会議「あいさつ運動啓発作品」校長賞)